

山江村議会だより

まるおか

No.52



茅葺の屋根修理を終えた「山田大王神社」



目次

- 新年のご挨拶
- 12月定例議会報告
- 一般質問
- 議会研修報告
- 編集後記「だんだんなあ」

平成26年1月31日発行 発行：山江村議会 編集：広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)22-0105 山江村域内電話 ☎23-3401

新年のご挨拶

1 位ルワンダ (56.3%) 2 位アンドラ、3 位キューバ、4 位スウェーデン、5 位セーシル、6 位セネガル、7 位フィンランド・・・163 位日本 (7.9%)。これは列国議会同盟が発表した、平成 25 年 2 月 1 日現在の国会議員に占める女性議員の世界順位です。(二院制の場合は下院や衆議院の議員数)。内閣府が発表している平成 25 年版男女共同参画白書で地方議会を見ると、平成 24 年 12 月末の全国の町村議会における女性議員の割合は、11.4% となっています。

山江村は、平成 23 年 3 月 18 日に「山江村男女共同参画推進条例」を制定し、基本理念を定めて、男女の人権が尊重される男女共同参画社会を実現するという高い目標を掲げています。その効果もあってか最近では役場の各種行政委員や家庭、地域、団体における女性の活躍が目覚ましいものがあり、これは男女共同参画社会を実現するためには大変喜ばしい事だと思っています。

現在、山江村議会は 1 名欠員の 9 名で運営しておりますが、今夏に予定されている村長選挙に合わせて、議会議員補欠選挙も実施されることになっています。全体の奉仕者として、これからの山江村をより良くしたいと願われる 25 歳以上の方の立候補を心より待ち望んでいるところです。

最後に、随分と前に新聞で見かけた総合商社丸紅の広告を紹介します。

道がなければ、つくればいい。
逆風が吹けば、立ち向かえばいい。
ピンチは、チャンスだと思えばいい。
たとえ、どんな状況にあっても必ず前へ進む。
ひとりの人が、ひとつの町が、ひとつの国が、
そして地球が豊かになるために私たちは走る。
幸せな未来をつかっていけるように。
走れ、走りつづけろ。

平成 26 年正月 山江村議会議長 松本 佳久



山江村議会議長
松本 佳久

平成25年第5回山江村議会定例会

平成25年度一般会計補正予算(第3号)を修正!

平成25年第5回12月定例議会は、11日から13日までの3日間の会期で開催されました。今回提案されたものは、報告2件、同意1件、平成25年度山江村一般会計、特別会計の補正予算5件、議会提案の意見書4件を審議しました。

本会議は11日に開会し、提案理由説明の後議案審議。12日は一般質問で2名が登壇。最終日の13日に提案された全議案について質疑・討論・表決を行ない、平成25年度山江村一般会計補正予算については、一部修正動議が提出され、全員一致で修正案を可決しました。他の議案については原案どおり可決、決定し閉会しました。

委員会報告の内容

※総務常任委員会報告

平成25年9月定例議会において、総務常任委員会へ付託されていましたが、神園公民館改修に係る財政支援の要望書については、総務常任委員会から報告があり、本会議において報告のとおり採択が決定しました。

※山江村総合行政システム更新事務に係る調査特別委員会報告

平成25年9月定例議会において設置しました、山江村総合行政システム更新事務に係る調査特別委員会(100条委員会)は、4回にわたる委員会と関係者の証人喚問や関係業者への記録の提出を求め調査を行ってまいりましたが、今回の定例会において議長へ最終報告を行いました。

1、見積書の提出状況

	見積書提出日と見積金額		結 果
A社	平成24年1月6日	平成24年4月12日	新システムとして採用
	143,235,000	135,240,000	
B社	平成24年1月6日	平成24年7月4日	7月4日提出分は 見積提出期限を過ぎており不採用
	155,396,400	131,040,780	
C社	提出なし	平成24年4月26日	システム内容が 本村仕様に適合しない
		99,600,000	

2、問題点の背景、原因と委員会の判断

- 行政事務は文書主義が基本であるにもかかわらず、一部の業者に見積依頼を口頭で指示するなど軽率であり、見積書提出期限が正確に伝わっていない。事業規模が大きく行政事務の根幹をなすシステムでありもっと公正、公平に事務執行に当たるべき。
- 議会一般質問のなかで、期限外の提出として不採用になった見積書について、知らないと答弁しているが、会議で取り扱いを協議している事実が明らかになり、極めて不誠実な答弁であった。
- 最小の経費で行うべき行政事務が正当な競争入札の結果決定されていないとすれば、村民に損害を与えたことが考えられる。

3、まとめ

不適切、不透明な事務処理が行われ、議会の一般質問においては、事実と異なる答弁が行われ、議会のみならず村民の行政に対する不信感につながった。執行部においては、今回の問題点を詳細に分析し、事務改善に努めるよう猛省を促し強く要望する。

平成25年度補正予算の内容

平成25年度一般会計補正予算（第3号）は、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1千496万7千円を減額し、総額28億6,748万3千円から28億5,251万6千円とするものです。公有林造成費に計上された民有林購入事業立木補償費について、購入価格が民間の取引価格とかけ離れており妥当な価格ではない。25haもの山林を購入するのに長期的な計画もなく、年度途中で突然購入するのは計画性がないなどの理由で補正額を0円とし予備費へ充当する修正動議が提出され、全会一致で修正案が可決されました。補正予算の内容は以下のとおりです。

平成25年度 一般会計補正予算（第3号）

■ 歳 入

【単位：千円】

款	補正前額	補正額	合計	説明
国庫支出金	253,932	7,964	261,896	民生費国庫負担金・社会資本整備総合交付金 元気臨時交付金
県支出金	193,955	6,086	200,041	民生費県負担金、子ども・子育て支援新制度電子システム 構築等補助金・森林環境保全直接支援事業補助金
繰入金	30,000	△30,000	0	財政調整基金
諸収入	12,409	983	13,392	平成24年度児童手当追加交付金
歳入合計	2,867,483	△14,967	2,852,516	

■ 歳 出

【単位：千円】

款	補正前額	補正額	合計	説明
議会費	59,487	1	59,488	社会保険料
総務費	468,282	25	468,307	社会保険料
民生費	638,951	4,205	643,156	障がい者福祉費、子ども子育て支援新制度電子システム構築委託料、特別保育事業費補助金
衛生費	352,459	1,280	353,739	出産育児一時金繰出金、子育て支援事業費
農林水産業費	347,633	3,532	351,165	新規作物導入支援事業補助金 森林環境保全直接支援事業
土木費	194,064	7,150	201,214	道路新設改良費、
消防費	129,204	572	129,776	防災行政無線維持管理費、修繕費 戸別受信機購入
教育費	168,397	1,547	169,944	公民館改修事業補助金
公債費	384,627	0	384,627	節組替え
予備費	79,639	△33,279	46,360	予備費
歳入合計	2,867,483	△14,967	2,852,516	

■ 特別会計補正の概要

【単位：千円】

款	補正前額	補正額	合計	説明
国民健康保険事業	563,043	840	563,883	高額療養費補助、出産育児一時金 後期高齢者支援金、償還金
簡易水道事業	138,172	0	138,172	中央地区簡易水道施設運営費
農業集落排水事業	155,347	0	155,347	消費税、光熱水費、修繕料
介護保険事業	482,236	0	482,236	消耗品費、通信運搬費、委託料 球磨郡認定審査会負担金

こんなことが決まりました

《議案と議決結果》

議案	議決の結果
報告第7号 総務常任委員会委員長報告 ・ 神園公民館改修に係る財政支援を求める要望書	採 択
報告第8号 山江村総合行政システム更新事務に係る調査特別委員会委員長報告 ・ 地方自治法第100条の規定に基づく調査に対する委員長の結果報告	原 案 可 決
同意第2号 山江村教育委員会委員の任命に関する同意を求めることについて ・ 任期満了に伴い、引き続き郡 眞聖氏を適任と認め任命するもの	同 意
議案第56号 平成25年度山江村一般会計補正予算（第3号） ・ 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ14,967千円を減額し総額を2,852,516千円とするもの	修 正 可 決
議案第57号 平成25年度山江村特別会計国民健康保険事業補正予算（第2号） ・ 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ840千円を追加し総額を563,883千円とするもの	原 案 可 決
議案第58号 平成25年度山江村特別会計簡易水道事業補正予算（第2号） ・ 歳入歳出予算の総額は既定の額とし総額を138,172千円とするもの	”
議案第59号 平成25年度山江村特別会計農業集落排水事業補正予算（第2号） ・ 歳入歳出予算の総額は既定の額とし総額を155,347千円とするもの	”
議案第60号 平成25年度山江村特別会計介護保険事業補正予算（第2号） ・ 歳入歳出予算の総額は既定の額とし総額を482,236千円とするもの	”
要請第1号 2014年度地方財政の確立に関する要請	”
陳情第3号 国民健康保険療養費国庫負担金の調整（減額）廃止を求める陳情書	”
陳情第4号 小学校就学前までの子供を対象とした国の医療費制度を早急に創設することを求める陳情書	”
陳情第5号 介護職員の処遇改善を求める陳情書	”



西 孝恒 議員

・固定資産税徴収負担の軽減策は
・コミュニティ・スクールの進展状況は

質問 固定資産税の徴収については、入会林や共有地の代表者は苦勞されていると思う、負担を軽くする方策は

答弁 各代表者に税の取りまとめを頂いているが、共有者の高齢化や相続人不明など困っている相談もある。代表者の負担を軽くして税徴収率につなげる為、個人其々分割納付できるようにした。

質問 分割納付の状況と、共有者を各個人へ賦課する方法は

答弁 現在まで18件、84筆について分割納付の手続きが済み個人で納付してもらっている。また、個人に賦課するためにには共有地を分筆して個人の名義にすることが必要、測量から登記までを司法書士に依頼する方法や入会林で

あれば制度も利用できる。

質問 24年度から通知が来なくなつたところについては

答弁 3年ごとに課税標準額を見直す評価替えをしている。地籍調査が完了し、その見直しにより評価額が落ちたりにして免税点の30万円未満で課税されなかったことなどが考えられる。

質問 本村のコミュニティ・スクールの構想ビジョンについての考えは

答弁 これまでもいろんな学校応援、支援活動の協力を頂いていたが、そのかわりを深めて質の高い学校教育を実現したい思いである。導入の目的は3つある。1つは学校支援活動に有効、2つ目に教育課程の改善充実にも有効、3つ目に学校は旧態依然でなく時代に即応した動き方が必要、学校改善や学校評価の充実にも有効と考える。その効果をより上げるために3校同時に導入を図った。

質問 コミュニティ・スクールへの支援や手立てについて

答弁 山江版という形で考えている。各学校独自の活動もあるが、同時指定

により3校揃って山江村全体の課題とか共有しながら活動し、豊かな学びをつくりたい。推移を見ながら支援すべきところは行う。

質問 学校運営協議会を含めた学校運営状況等、定期的な点検評価とその情報公開について

答弁 今後課題が出てくると思う。運営状況については、関係者の評価も受けながら充分に把握していきたい。情報公開については、村民の方にもご理解協力を願う立場からも、情報を公開していきたい。

質問 子供は未来の地域の担い手でもあり、将来の本村への期待度は

答弁 地域と共にある学校をつくることで結果的に学力向上、体力、道徳的な心、地域文化も含め、能力向上と地域の将来の担い手を育成することも期待できる。ふるさと山江を思い起こしてもう一度帰ってくるような仕組みも今後考える必要がある。あたたかく叱られて育ったというような土壌をこの山江村でつくってきたい。

一般質問



田原 龍太郎 議員

・(株)やまへの経営状況は

質問 設備の管理状況について、どのような管理を行っているか

答弁 ペーパー管理でファイル化され、設備、備品、業務日誌で台帳管理している。

質問 ボイラー設備の管理について、号機、時間、数量又メンテ業者は

答弁 一括管理で地下タンクのメーターにて管理し、メンテは定期的な管理を委託している。また、点検項目に応じて1〜2か月、1年点検を項目に応じて実施している。

質問 A重油タンクの配管の詰りでボイラーが始動時間に稼働しなかったのはなぜ。メンテ業務は、また従業員からの連絡は

答弁 事故の発生の連絡は無かった。A重油のリレースイッチの故障にて燃

料が供給されていなかった為に発生した。

質問 エマルジョン装置の導入後4〜5年経過しているが、現在の稼働状況は

答弁 改修、燃料供給の不手際で現状は殆ど活用されていない為、メンテ会社を交えて活用策を今後協議し再稼働を検討する。また、メンテナン業者の選定を行い取締役会等にて検討していただく。

質問 村長の経緯としての考え方を聞きたい

答弁 議会特別委員会からの改善策の提案、株式会社やまへの改善計画、第3者機関の熊本県商工会連合会、経営診断士による改善提案を総合し取り組んでいる。各部門ごとの責任体制を明確にする。変形労働時間の検討、情報の共有化による社員の連携意識の向上、出資者である株主の経営参加を検討する。

質問 今後「ほたる」温泉センターは、役員、従業員が本腰を入れて改善計画を策定し、その計画に基づき経営を軌

道に乗せることが重要である。そのため意識改革と言われるが、どんな指導をしているか

答弁 今まで5回程度全員を集めて30分から1時間かけて訓示、休館日等に経営の内情、今後の取り組みなどを指示した。
質問 資金が無いとの地区座談会での発言について、議会の監査請求に対して山監第43号の監査報告では、資本金は実在したことについて、村長の発言はおかしいのでは

答弁 取締役会の席上で、「出資金が無い」と報告があった

田原議員 しかし、前担当は資本金には手は付けていないとのこと、資本金も有ったし、監査委員の結果も「山監第43号」にて、平成24年度までは資本金は有ったと報告されている。

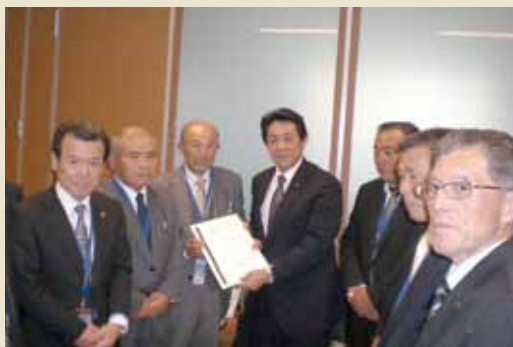


国会要望及び議会研修報告

山江村議会は、11月6日から8日までの3日間、地元選出の衆参両議員への要望活動と先進地研修を行いました。

6日午後には、金子恭之代議士及び松村祥史参議を訪問し、平成26年度山江村主軸事業の要望と山江村が抱える諸問題について意見交換を行いました。金子代議士は委員会中のため、特別に委員会の質疑を傍聴しました。

7日は群馬県川場村を研修し、農業プラス観光、東京世田谷区との縁組協定、田園プラザ運営、村が独自に開発したブランド米「雪ほたか」などについて研修を行い、最終日の8日には全国町村議会議長会において、道州制に関する研修と意見交換を行いました。



松村参議への要望



金子代議士(秘書)への要望



群馬県川場村での研修



全国町村議会議長会での研修

だんだんあ



明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えになったことでしょうか。

すでに大寒を過ぎましたが、ここ数日の厳しい寒さはさすがに身にこたえます。今年には「一年の計は元旦にあり」と言われますが、これは年のはじめに用意周到な計画が肝心であるとのこと。しかし、日が経つに連れなかなかな難しいものです。ずるい者で「三日坊主」になっても物事が上手く進むことを願うものであります。

しかし、正月早々気になるのは消費税増税ではないでしょうか。社会保障対策とは言え、迫り来る高齢化社会の主人公たちが皆一抹の不安を抱えています。

国の政策と地方の知恵、工夫がうまく連携することで不安解消に繋がりたいものです。「馬は馬方次第」とよく言われますが、村民も馬方となり共に頑張りましょう。本年もどうぞ宜しくお願いします。

文責 (K・N)

議会広報委員

- 委員長 中竹 耕一郎
- 副委員長 西 孝恒
- 委員 秋丸 安弘
- 委員 谷口 予志之